

変貌するロータリー財団

地区ロータリー財団委員会 委員長 渡瀬 忠彦

今、ロータリー財団は大きな変革・「未来の夢計画」による新しいロータリー財団（**未来のロータリー財団**）へ生まれ変わろうとしております。『**未来のロータリー財団**』では、財団の補助金が**新地区補助金**、**グローバル補助金**の2つに簡素化されます。両補助金とも、補助金で実施出来るプロジェクトは、人道的プロジェクト・奨学金・VTT（職業研修チーム）に分けることが出来ますが、いずれも「**財団の使命に沿ったものでなければならない**」という大前提があります。更に、プロジェクトを実施するためには、クラブが地域社会のニーズを調べ、計画を立て、補助金を申請する必要があります。

今までは、ロータリー財団のプログラムに乗って行動していれば良かったのですが、**ロータリーセンター・プログラム**及び**ポリオ・プラス・プログラム**以外は全て無くなります。それ故、財団の方からは何のアクションもありません。自ら考え行動しない限り、何も始まらないのです。

新地区補助金は、地域社会（地元）のニーズに沿った比較的短期のプロジェクトに資金を回すように奨励されております。従来 of 地区補助金のように人道的プロジェクト限られることもありません。教育的プロジェクトにも使えます。

グローバル補助金は、**6つの重点分野に、直接関連するプロジェクト**であって、しかも**持続的成果が見込めること**という枠がはめられておりますが、今までは認められていなかった**インフラ整備**とか**学校の増改築**なども認められるようになっております。また、このグローバル補助金には、TRFから同額の補助金が支給されますので、より大きなプロジェクト（20万ドルまで）が実施出来るという魅力があります。是非活用して頂きたいと思っております。